

I 令和5年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

<事業概要>

令和5年度は、当事業団の基本理念である「すべての市民が優れた文化的環境のもとで、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」に向け、これまでの公益目的事業内容を改めて見直し、鑑賞事業、講座やセミナーなど、時代に即した芸術・文化の振興事業を展開した。

また、唐沢山城跡調査整備受託事業を継続して進め、さらに職員体制を整えて令和5年4月1日から佐野市郷土博物館指定管理業務を開始し、当事業団の役割を大きく発展させた。

その他、「事業団友の会」の事業団主催事業への参画や自主的な活動支援など、文化活動を通じた市民協働に取り組む一方、事業団や博物館の活動を広く伝えるため、ホームページやSNSの活用を積極的に進めた。

<公益目的事業>

【1】芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞、企画展共催事業、講座

演奏会などの鑑賞事業や芸術・文化に関する講座等を実施し、一方で地域の美術館や博物館等と共催するなどして、広く市民へ芸術・文化に触れる機会を提供した。

また、市民がそれぞれの立場で文化的営みを行い、自己実現を図り、活力のある地域社会の文化的創成に寄与できるよう、活動を支援する事業を実施した。

1. 芸術・文化鑑賞事業

地域における文化的環境の醸成と市民生活の充実、地域社会の文化的発展を目指して、身近な場所で芸術・文化を鑑賞できる事業を実施した。

(1) 美術館・博物館コンサート

美術館・博物館と演奏者をコーディネートし、市民に生の音楽を気軽に鑑賞する機会とともに、身近な場所で美術・文化を鑑賞できる事業を実施した。

①美術館コンサート at 佐野東石美術館～弦楽四重奏の調べ～

- ・期 日 令和5年7月2日(日)
- ・場 所 佐野東石美術館 3階展示室
- ・出演者 「弦楽四重奏団 NASA's Quartet」
ヴァイオリン 富田 尚也 氏 瀬端 あいり 氏

- | | | |
|------|------|---------|
| | ヴィオラ | 丸山 蒼人 氏 |
| | チェロ | 佐藤 愛雅 氏 |
| ・参加者 | 58人 | |

②博物館コンサート at 佐野市郷土博物館～マリンバの響き～

- ・期 日 令和5年10月29日（日）
- ・場 所 郷土博物館 1階展示ホール
- ・出演者 マリンバ 樋口 さゆり 氏 日比 彩湖 氏
- ・参加者 56人

（2）コンサートオンライン配信

開催したコンサート等の模様を編集し、オンライン配信して、もう一度当日の雰囲気味わいたい人たちや来場できなかった方たちに鑑賞できる機会を提供した。

2. 美術品・歴史資料展示及び企画展共催事業

地域の博物館・美術館・文化施設等と連携しながら、佐野の芸術・文化や歴史をテーマに、良質な美術品や貴重な資料などを企画展示し、市民の興味関心を高めて郷土への理解や愛着を深める事業を実施した。

（1）郷土博物館企画展共催

郷土博物館指定管理業務とは別に、秋の企画展の理解を深めるため、市民向け冊子を作成し発行した。冊子は、市内学校、図書館、公民館図書館での活用を図るとともに、企画展見学者や一般の希望者へ提供し、郷土の歴史や文化財に関する理解の推進を図った。

①秋の企画展「未公開文書からたどる田中正造」

- ・期 間 令和5年10月7日（土）～12月10日（日）
- ・共催内容 解説パンフレットの作成 500部

3. 芸術・文化講座及び体験・人材育成セミナー

芸術・文化に対する興味関心の醸成と市民意識の高揚、市民自らの主体的な文化活動を促進するため、講座やセミナーを実施して芸術や文化に関する志向性の浸透を図り、文化活動を担う人材育成のための事業を実施した。

（1）アートプロジェクト

日頃、絵画や作品づくりをする機会がない方たちを対象に、初心者の方たちにも手軽に参加できるセミナーを開催し、自ら美術作品を制作する面白さを体験し、その後の自主的な文化活動へ向けたきっかけづくりをした。

- ・テーマ 「はじめてのデッサン～『描く』を楽しむ第一歩～」
- ・期 日 令和5年8月19日（土）、8月26日（土） 計2回
- ・場 所 郷土博物館
- ・講 師 津布久 凌 氏
- ・参加者 22人

（2）佐野再発見専門講座

事業団友の会の協力を得て、話し合いの中から佐野の歴史や芸術・文化に関するテーマを見出し、地域の魅力や奥深さを再発見する講座を実施した。

- ・テーマ 「栃木県伝統工芸品栃木鬼瓦～伝統の技術を知る～」
- ・期 日 令和5年11月19日（日）、12月3日（日）、
12月10日（日） 計3回
- ・場 所 郷土博物館及び山菊鬼瓦店
- ・講 師 山上 菊三 氏
- ・参加者 19人

（3）文化活動セミナー

文化活動に興味がある人を対象に、仲間づくりや事業団友の会メンバーとの交流を図り、活動のきっかけづくりとなるセミナーを実施した。

- ・テーマ 「新たな出会いから生まれる豊かさ」
- ・期 日 令和5年9月24日（日）、10月8日（日）、11月5日（日）
計3回
- ・場 所 郷土博物館 等 （2班に分かれフィールドワークを実施）
- ・参加者 20人

（4）文化活動フォローアップ

文化活動セミナー修了者や事業団友の会に対し、文化活動支援を行った。主体的な文化活動の取り組みや、事業団が進める事業への参画を通じて、市民の文化活動を支援した。友の会においては、年間を通じ定例会で話し合いをすすめつつ、適宜学習会やフィールドワークなども実施した。

①イベント企画運営グループ「S・Cフラワーズ」

- ・登 録 者 11人
- ・活動内容 アートプロジェクト、文化活動セミナー、コンサート 等

②佐野の文化探求グループ「be 文活フレンズ」

- ・登 録 者 16人
- ・活動内容 文化活動セミナー、市内フィールドワーク 等

【2】市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・人材育成を担う団体に対する
助成・支援事業

精神的豊かさを求める市民の文化的活動や歴史や伝統に根ざした文化の継承・人材育成を支援することで、芸術・文化の振興を図る事業を実施した。

1. 地域の芸術・文化振興活動事業助成金

市内で芸術・文化活動を行っている団体が主催する地域文化の向上を目的とする事業で、団体活動の特色を活かし個性豊かな地域文化を創造する事業を対象に、団報やパンフレットの配布、ホームページ等で募集を行った。

(1) 実施事業 1件（令和4年度中に申請し助成決定済）

- ・団体名 日本水彩画会安足支部
- ・事業名 第125回記念展開催と記念画集発行
記念事業として水彩画の理解普及拡大
- ・助成額 105,000円
- ・実施期間 令和5年7月～令和6年1月

なお、令和6年度実施事業を対象に令和5年度に募集した結果、助成要件に該当する応募がなかった。

2. 地域の伝統文化保存・育成事業助成金

国、栃木県、佐野市の指定となった伝統文化の保存や民俗文化財の継承、団体の育成を目的とした事業を対象に、団報やパンフレットの配布、ホームページ等で募集を行った。

(1) 実施事業 1件

- ・団体名 芦畦獅子舞大祭実行委員会
- ・事業名 芦畦獅子舞大祭
- ・助成額 50,000円
- ・実施日 令和5年8月27日（日）

なお、令和6年度実施事業を対象に令和5年度に募集した結果、助成要件に該当する応募がなかった。

【3】文化財の調査・整備・活用・博物館事業

佐野市内には、後世に伝えるべく史跡や貴重な歴史・文化遺産が多数所在しているため、佐野市が進める史跡整備や歴史・文化遺産の掘り起こしと活用に取り組んだ。

また、佐野市郷土博物館の指定管理業務を担う利点を有効に活用して、資

料収集や調査・研究の成果を市民に広く還元し、本市の歴史・文化的環境の醸成を図った。博物館事業においては、学校教育との連携を図り、青少年の学習を積極的に支援した。

1. 文化財の調査・整備・活用事業

令和5年度は、唐沢山城跡調査整備受託事業を中心に業務を実施した。

唐沢山城跡二の丸石垣の保存修復作業に伴う調査及び復旧計画の策定・設計に伴う作業、令和4年度に実施した本丸石垣積み直しに伴う調査報告書の作成に係る作業を、市教育委員会文化財課と連携して進めた。

さらに、史跡の調査・整備とともに、その活用を図る上では歴史的背景を探る取り組みが必要なため、唐澤山神社や佐野家に伝わる史料調査を行った。

(1) 令和5年度史跡唐沢山城跡保存整備に伴う調査業務

- ・ 履行期間 令和5年6月30日（金）～令和6年3月5日（火）
- ・ 実施業務 史・資料調査、図面及び報告書作成に伴う現地確認・調査、定期指導、個別指導
- ・ 場 所 唐沢山城跡内及び郷土博物館 等

(2) 唐沢山城関連史料調査

- ・ 履行期間 令和5年11月4日（土）～令和6年3月3日（日）の期間中、計15回
- ・ 場 所 唐澤山神社及び郷土博物館 等
- ・ 調査協力 荒川 善夫 氏

その他、「唐沢山城内戦国マップ」を2,000部作成し、発行した。

2. 博物館事業

佐野市郷土博物館の管理運営を佐野市から受託し、協定に基づき業務を実施した。博物館資料の展示・活用については、企画展やテーマ展のみならず常設展にも反映させるなど広く市民へ公開し、講座や講演会なども実施しながら、郷土の歴史・文化に対して興味関心や理解を深める機会を提供した。

また、学校教育との連携を図りながら青少年の学習を積極的に支援した。

入館者数

月	個人 (人)	団体		入館者総 数 (人)	1 日平均 (人)	開催日 数 (日)
		組	人数			
4	736	5	67	803	30.9	26
5	1,098	12	629	1,727	66.4	26
6	1,811	25	912	2,723	97.3	28
7	958	4	65	1,023	51.2	20
8	1,399	3	34	1,433	55.1	26
9	881	5	94	975	37.5	26
10	1,833	14	326	2,159	83.0	26
11	420	26	852	1,272	50.9	25
12	550	8	202	752	31.3	24
1	1,868	14	636	2,504	104.3	24
2	2,013	15	559	2,572	102.9	25
3	1,263	4	64	1,327	51.0	26
合計	14,830	135	4,440	19,270	63.8	302

(1) 資料の収集・保存及び管理

資料の収集、収蔵資料の適正な保存と管理を行った。

(2) 資料の展示

季節ごとに企画展等を開催した。常設展示は適宜展示替えを行った。

①テーマ展「縄文時代のくらし」 ※県立博物館地域移動博物館

- ・期 間 令和5年5月20日(土)～7月2日(日)開催40日
- ・入館者 3,732人

②収蔵資料展「埋もれた教育者森鷗村撰文の石碑展」

- ・期 間 令和5年7月22日(土)～8月27日(日)開催32日
- ・入館者 1,766人

③第77回企画展「未公開文書からたどる田中正造」

- ・期 間 令和5年10月7日(土)～12月10日(日)開催55日
- ・入館者 3,555人
- ・記念講演会 期 日：令和5年11月3日(金・祝)
講 師：坂原 辰男 氏
演 題：「田中正造と黒澤西蔵」
会 場：佐野市総合福祉センター 会議室
来場者：78人

④収蔵資料展「くらしのうつりかわり～古い道具と昔のくらし～」

- ・期 間 令和6年1月4日（木）～3月3日（日）開催52日
- ・入館者 5, 255人

⑤特別展示「司馬遼太郎の直筆はがき」

- ・期 間 令和6年2月10日（土）～2月18日（日）開催8日
- ・入館者 955人

（3）博物館学校利用推進

市内小学校・義務教育学校全校に対し博物館学校利用学習を支援した。

- ・6年生 「歴史学習」（5月～7月） 927人
 - ・4年生 「郷土につくした人々」（10月～11月） 858人
 - ・3年生 「くらしのうつりかわり」（1月～2月） 841人
- 計 2, 626人

（4）展示解説ボランティア活動

学校利用の学習支援等において、ボランティアによる展示解説の活動を進めた。また、ボランティア講座を開催し活動の担い手を育成した。

（5）各種講座

一般市民を対象にした講座を、年間を通して実施した。

講座名	期日	対象	参加者数
土偶レプリカ作り	5月28日（日）	一般市民	15人
古文書入門講座	6月3日・10日 ・17日・24日 （各土曜日）	一般市民	16人
佐野市の民話を楽しもう	6月18日（日）	一般市民	14人
まが玉を作ろう	7月23日（日）	一般市民	14人
県立博物館へ行こう	7月27日（木）	親子	36人
エラスムス像を調べてみよう	7月29日（土）	小中学生	25人
立体切り折紙講座	7月30日（日）	小学生以上	13人
石材の印作り （てん刻）講座	11月4日・11日 ・18日・25日 ・12月2日 （各土曜日）	一般市民	12人
火おこし講座	12月9日（土）	10歳以上	9人
展示解説ボランティア養成講座	令和6年1月18日 （木）・31日（水） ・2月9日（金）	一般市民	5人

(6) 外部への協力

学芸員実習や職場体験、関係機関等からの協力依頼に対応した。

- ・学芸員実習（養成課程に学ぶ大学生対象） 1人
- ・インターンシップ（市内高校生・大学生） 1人

(7) その他

- ・博物館ホームページをリニューアルし、より見やすくした。
- ・「佐野市郷土博物館ジュニアガイド」を4,000部作成し発行した。
- ・公立の登録博物館として必要な調査・研究・情報提供等を行った。

【4】芸術・文化に関する情報収集・提供事業

事業団報やホームページなどを活用し、芸術・文化に関する情報収集や情報提供を実施した。

1. 事業団報『かがやき』29号の発行

事業団の広報紙を市内全戸に配布すると共に、市内公共施設等の情報発信コーナーにも置いて来場者に供した。

- ・体裁 A4版 8ページ
- ・部数 46,000部

2. 広報紙・インターネット等の活用

博物館を含めた事業団の事業PRのために、市の広報紙や、新聞、ケーブルテレビ等を活用し、積極的に市民への情報提供を行った他、ホームページの充実を図り、事業・イベント、博物館の魅力などの情報を随時発信した。

- ・SNSの活用 X（旧ツイッター）、インスタグラム（新規開設）、フェイスブック（新規開設）、ノート（新規開設）

【5】各種団体事業への後援

各団体が実施する各種事業のうち文化振興に関わる事業について、当該団体から後援依頼の申請を受け、当財団がその企画やイベントの趣旨に賛同した団体に後援名義の使用を承諾した。

行事名	期日	場所	主催
佐野市民合唱団 “Voice”第22回定期演奏会	7月29日(土)	佐野市文化会館大ホール	佐野市民合唱団 “Voice”
124回日本水彩画会安足支部展	9月4日(月) ～6日(水)	あしかがフラワーパークラザ	日本水彩画会安足支部
第14回さのクラシックコンサート「煌めくオペラの饗宴」	11月26日 (日)	佐野市文化会館大ホール	佐野市文化会館
さの演劇塾第14回定期公演「海と日傘」	12月2日(土) ～3日(日)	佐野市文化会館小ホール	さの演劇塾・佐野市・市文化協会

デビュー50周年記念 ダ・カーポコンサート	12月3日(日)	佐野市文化会 館大ホール	佐野市文化会館
第125回日本水彩画会 安足支部記念展	令和6年1月 24日(水) ～28日(日)	佐野市文化会 館展示室等	日本水彩画会安足 支部
第11回R293美術展2023	3月9日(土) ～24日(日)	佐野市文化会 館展示室	佐野市文化会館

【6】理事会、評議員会等に関する事項

1. 理事会議決及び報告事項

区分	議決年月日	件名	可否
第1回 通常	令和5年 5月19日 (金)	1 報告第1号 職務の執行状況の報告について	—
		2 報告第2号 公益目的事業（公3）の変更認定について	—
		3 議案第1号 令和4年度事業報告について	可決
		4 議案第2号 令和4年度決算報告について	可決
		5 議案第3号 令和5年度定時評議員会の招集について	可決
第2回 通常	令和6年 2月2日 (金)	1 報告第1号 職務の執行状況の報告について	—
		2 報告第2号 「佐野市郷土博物館業務の改善のお願い」について	—
		3 報告第3号 春山敏明議員からの市議会一般質問について	—
		4 報告第4号 事業検討委員会からの答申について	—
		5 議案第1号 令和6年度事業計画について	可決
		6 議案第2号 令和6年度収支予算について	可決
		7 議案第3号 令和5年度臨時評議員会の招集について	可決

2. 評議員会議決及び報告事項

区分	議決年月日	件名	可否
定時	令和5年 6月6日 (火)	1 報告第1号 公益目的事業（公3）の変更認定について	—
		2 議案第1号 令和4年度事業報告について	可決
		3 議案第2号 令和4年度決算報告について	可決
臨時	令和6年 2月16日 (金)	1 報告第1号 「佐野市郷土博物館業務の改善のお願い」について	—
		2 報告第2号 春山敏明議員からの市議会一般質問について	—
		3 報告第3号 事業検討委員会からの答申について	—
		4 報告第4号 令和6年度事業計画について	—
		5 報告第5号 令和6年度収支予算について	—

3. 事業検討委員会

令和4年5月13日の理事会で設置された事業検討委員会において、事業団における事業推進について、令和5年度も検討を行った。

〔会議概要〕

区分	開催日	議事等
第1回	令和5年 6月21日 (水)	1 団報『かがやき』について 2 佐野市ゆかりの芸術家について 3 諮問「佐野市民文化振興事業団の今日的役割について」
第2回	11月8日 (水)	1 令和5年度文化活動助成事業の状況について 2 令和6年度文化活動助成事業について 3 令和6年度の事業計画について 4 「佐野市ゆかりの芸術家」について 5 諮問「佐野市民文化振興事業団の今日的役割について」
答 申	12月14日 (木)	「佐野市民文化振興事業団の今日的役割について」 委員長が理事長に答申
第3回	令和6年 3月12日 (火)	1 答申に関する理事会・評議員会での意見について 2 令和6年度の事業計画について 3 2年間を振り返っての意見交換

【7】情報公開に関する事項

無し。

附属明細書

令和5年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しない。